＜2ページ＞
研修会で実施したグループワークのテーマ②で出た意見を紹介します

＜3ページ＞
グループワークで出た質問や、印象に残ったこととして多く挙げられたものを紹介します！

＜4ページ＞
市からのお知らせ（まちだ☆おいしい食べきり運動、出前講座、リサイクル広場）

冬号

ごみ減量サポーターニュース

発行：町田市環境資源部３Ｒ推進課

ごみ減量サポーター向け研修会を開催しました！

研修会の様子を紹介します

11月7日（水曜日）に「ごみ減量サポーター（町田市廃棄物減量等推進員）向け研修会」を、市庁舎2階の会議室で開催し、48名の方が研修会に参加されました。

研修会は2部構成で、第1部では「家庭から始める３Ｒとごみ減量」の講演、第2部ではグループワークを実施しました。グループワークでは、「①講演を聞いて感じたこと」「②家庭から出るごみを減らすために地域でできること」 の2テーマについて意見交換を行いました。

なお、応募者数が定員を大幅に超えてしまったため、抽選となってしまい、ご希望に沿うことができなかった方も出てしまい、申し訳ありませんでした。たくさんのご応募・ご参加ありがとうございました。

第1部　講演「家庭から始める3Rとごみ減量」

［写真左］ごみ減量ネットワーク代表 大阪ごみ減量推進会議幹事 北井弘様

［写真左］講演の様子

講演では「町田市のごみの現状」「３Ｒについて」の説明から始まり、具体的なごみ減量の取組として、「食品ロスについて」「生ごみの減量とリサイクル」「紙類の減量とリサイクル」「プラスチックの減量とリサイクル」に関する講演をしました。

また、講演の中で、2つのトイレットペーパーを触って、原料が再生紙であるかバージンパルプであるかを当てるクイズもあり和やかな雰囲気の講演となりました。

第2部　グループワーク
①講演を聞いて感じたこと　②家庭から出るごみを減らすために地域でできること

6班に分かれて行いました。まず自分の意見を付箋に書いてもらい、その後各班のファシリテーターの進行で模造紙に付箋を貼りながら、意見交換を行いました。どの班もたくさんの意見が出ました。

最後に、各班で出された意見を、ファシリテーターが発表しました。併せて、講師から講評をいただきました。

グループワークで出た意見や質問は次ページにも掲載していますので是非ご覧ください。

テーマ「①講演を聞いて感じたこと」で出た意見を紹介します！

- ○３Ｒの意味が良くわかった。
- ○ごみ問題について新たに知ったことが多かった。
- ○雑がみ等の仕分け、分類を細かくすることの重要性を再認識した。
- ○安いと必要でなくても買ってしまうので、余分なお金は持っていかないようにして、必要な物だけ買うようにする。
- ○戦中戦後に育った者として「モッタイナイ」感覚を再確認しました。
- ○最終処分量0トンにびっくりした。

テーマ「②家庭から出るごみを減らすために地域でできること」

このページでは、グループワークのテーマ②で出た意見をいくつか紹介します。

★個人でできること★

○レジ袋をもらわない。
○冷蔵庫クリーン作戦を実施。
○はかり売りなど、容器を持参して買えると良い。
○生ごみを減らす対策として、水きりを実施。
○食べ残しを減らしてごみをなくす。
○生活組合を使用し、一週間分の食料を定期的に購入する。
○紙ごみの減量のために、紙に書くよりできるだけ覚える。
○つめかえなどリデュースできる品物を買ったり、リサイクルショップやメルカリを利用する。
○マイ袋同様マイ容器を持参する。マイ食器もあるといい。
○家族内のコミュニケーションを良くして同じ物を買ったりしない。
○レジ袋で集めたごみはごみ袋にあける。２重袋をやめる。
○ペットボトルの飲物等を買わない。水筒を使う。

★地域でできること・町内会自治会の取り組み★

○自治会館で不用品交換をする。
○自治会で講演会などを行い、みなさんに伝える。
○自治会、町内会ごとに余った食品をわけあう。
○各種イベントでリユース食器の利用や分別ステーションの設置、デポジット制を実施することでイベントのごみが減ると思う。
○フードバンクやフードドライブ、サルベージパーティーをやっていきたい。
○資源ごみの回収に伴う市からの奨励金等で会員には防災用品を配布し、自治会費を減らした。
○出前講座を活用し、講座等の広報をする（ただし自治会員に限られる）。
○生ごみ処理機を増やして活用する。
○個人の意識を高める。資料作成にはお金がかかり難しいが住民意識の向上させる。
○町内のイベントの際に各項目にＰＲを兼ね、指導・協力をお願いする。
○地域で、口コミ等で啓発する。
○資源ごみの回収品目を増やす。

★行政・事業者にお願いしたいこと★

○減量したことに対するフィードバック（減税措置や賞金など）が必要。
○地域住民の減量に対する理解・自覚が得られるよう市の広報で伝える。
○ごみを減量できているよい家庭の情報（アイデアなど）を回覧できないか？
○外国人への周知。日本語しか表記がない。
○幼稚園や小学校、中学校で分別のルールを教える。
○我々に減量を訴える前に、「産業」に対して指導する体制との併用が必要。
○可燃ごみのエネルギー転換の重要性。国家機関等との連携をしましょう！
○バスの無料パスといっしょに分別ルールの紙を大きな文字で渡す。
○町田市というよりTVやラジオでごみ減量のコマーシャルをわかりやすくする。
○土に変わる紙やプラスチックが出てくるといい。
○リサイクルマークや区分をもっと大きくかいてほしい。
○デパートなどの包装の仕方がていねいすぎる。過剰包装を無くす。

グループワークで出た質問や、印象に残ったこととして多く挙げられたものをまとめて紹介します！

雑がみについて

＊ホチキスははずさないで出してもいいですか？

簡単にはずせるものは、はずしてからお出しください。金属部分が微量でしたら、リサイクルの過程で沈殿物として出てきますので、はずすのが難しい場合はそのままの状態で出していただいても大丈夫です。

＊においがついている洗剤の箱は古紙に出せますか？

洗剤の箱や線香の箱など匂いの強いものは、リサイクルの過程でも紙についている匂いがとれず、リサイクルの妨げになります。燃やせるごみとしてお出しください。

＊粘着テープは剥がさないで出してもいいですか？

粘着テープに付着している接着剤が不純物となり、リサイクルした際、品質を落とすことにつながりますので、剥がしてください。

＊酒パックはなぜ古紙の日に出せないのですか？

酒パックなどは、内側にアルミが着いているので、古紙ではなく燃やせるごみになります。なお、リサイクル広場には持ち込むことができます。

＊ヨーグルトの紙容器は古紙に出せますか？

ヨーグルトのような液体を入れる容器は、防水加工が施されているので、古紙ではなく燃やせるごみになります。なお、リサイクル広場には持ち込むことができます。

容器包装プラスチックについて

＊町田市の一部地域で容器包装プラスチックを回収しているが、今後の方向性は？

現在、横浜線より南側の地域では容器包装プラスチックの中間処理施設が先に完成しているため、先行して容器包装プラスチックの分別回収を行っています。その他の地域の分別回収は、他の中間処理施設の完成後、開始する予定です。

＊ビンの中栓のプラスチックや、ビンの口についているプラスチック部分は取らないで出してもいいですか？

ビンの中栓や口についているリング状の部分は、無理して取らずに、付いたままお出しいただいて大丈夫です。

ごみ処理経費について

＊町田市のごみ処理経費（15,657円/年間1人当たり）が高額なのはなぜですか？

最終処分場への負担金や、町田市ではリサイクルされている品目が多くリサイクルに要する経費がかかるため、この金額になっています。

食品ロス・生ごみについて

～印象に残ったことで多かったもの～

＊学校給食の残飯はどのように処理してるの？

市の学校給食の残飯は、家畜の飼料や肥料にリサイクルしています。

＊町田市の大型生ごみ処理機貸出制度とは？

町田市では大型生ごみ処理機貸出制度があります。町内会・自治会などの団体向けに大型生ごみ処理機の無料貸し出しをおこなっています。

■貸与条件：
①10世帯以上で構成される団体
②設置場所を無償で市に貸与できること
③生ごみ処理機からできる「たい肥のもと」を地域で使用すること

■貸与期間：５年以上

［写真左］大型生ごみ処理機

＊冷蔵庫クリーン作戦

日にちを決めて、その日は冷蔵庫の中身を総ざらいし、賞味期限切れ間近の食品や使い切っていない生鮮食品を使って料理する。

＊サルベージ・パーティー

サルベージは「救助する」という意味。
賞味期限が迫った食品や、もらったけど食べるあてのない食品を、気のおけない友人同士で持ち寄り、みんなでワイワイとレシピを考えながら楽しく料理して食べる催し。

＊消費期限と賞味期限の違い

消費期限はお弁当や生菓子など保存がきかない食品に表示されています。開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、食べても安全な期限を示しています。
一方、賞味期限は、冷蔵や常温で保存がきく食品に表示されています。開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、おいしく食べられる期限を示しています。賞味期限を過ぎても食べられなくなるとは限りません。

まちだ☆おいしい食べきり運動を実施します！！

2018年12月1日から2019年1月31日の期間、宴会時の食べ残しを減らすため「まちだ☆おいしい食べきり運動」を実施します。

何かと宴会が多くなる年末年始ですが、「食べ残しを出さない楽しい宴会」を目指して「食べきるための宴会5箇条」のご協力をお願いします。

宴会時における1食当たりの食べ残しは、約150gとなっており、出された料理の2割が食べ残しとして廃棄されています。

（農林水産省：「平成27年食品ロス統計調査（外食産業調査）」）

＜食べきるための宴会5箇条＞

1. 参加者に応じた適切な量の料理を注文しましょう！
2. 宴会を始める前に「おいしく食べ切ろう！」の声掛けをしましょう！
3. 中締めやお開き前に席に戻って、しっかりと料理を食べる「食べきりタイム」を実施しましょう！
4. 食べきれない料理は、みんなで分け合いましょう！
5. 目指せ完食！でも食べ過ぎや飲み過ぎにもご用心です！ごみとからだのダイエットを目指しましょう！

まちだ☆おいしい食べきり運動ポスター

『資源とごみの出前講座』まだまだ受付しています！！

町田市では、３R を中心に「ごみの減量方法」や「ごみの出し方」などについてわかりやすく解説する講座を実施しています。

開催をご希望される場合は、電話にてお申込みください。

★土・日・祝日での開催が可能です！
★メニューは多種多様！ご希望に応じて対応いたします！

スケルトンごみ収集車「みえるくん」のデモンストレーションもできます！

【問い合わせ先】
３Ｒ推進課推進係（TEL:042-797-0530）

子どもセンターばあんにリサイクル広場がやってくる！！

12月15日（土）から「子どもセンターばあん」でリサイクル広場を毎月1回開催します。右記対象品目は無料で持ち込むことができます。ぜひご利用ください。

日時：毎月第3土曜日 ※祝日はお休み
時間：午前10時から午後3時まで
場所：子どもセンターばあん
　　正面玄関付近（金森4-5-7）
＊雨天決行です

詳細は市ホームページ内にて「リサイクル広場」と検索

＜対象品目＞（無料でお持込できます）

【陶磁器・ガラス食器】
食器類・植木鉢等で、割れているもの、かけているものも可

【廃食用油】
サラダ油等の食用油で、揚げカスの混入、賞味期限切れ、酸化しているものも可

【紙容器】
紙リサイクルマークのあるものできれいに洗ってあるもの、内側にアルミが着いているものも可

【家庭金物】
台所用品、大工道具は、取っ手や柄付きのものなど、大部分が金属でできているもの

【洗剤の計量スプーン】
プラスチック製のもの

【ペットボトルのふた】
飲料用のもの

【パン袋の留め具】
プラスチック製のもの

【ビデオテープ】
カセットテープ・CD・MD・DVD・BDなどは対象外。

【インクカートリッジ】
ブラザー・キヤノン・デル・エプソン・日本ヒューレットパッカードの純正品のみです

【小型家電】
30センチ×15センチの投入口に入る小さな家電製品です
パソコンは対象外です

【携帯電話】
携帯電話・スマートフォン本体が対象
付属品などは使用済小型家電回収ボックスに入れてください